

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 17 日 (2007.5.17)

【公表番号】特表 2002-540164 (P2002-540164A)

【公表日】平成 14 年 11 月 26 日 (2002.11.26)

【出願番号】特願 2000-607650 (P2000-607650)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 31/203 (2006.01)

A 6 1 K 31/381 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 31/203

A 6 1 K 31/381

A 6 1 P 25/00

C 1 2 N 15/00 Z N A A

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 20 日 (2007.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】神経突起を発生させるための、R A R 2 および / またはそのアゴニストを含む医薬組成物。

【請求項 2】前記アゴニストがレチノイン酸 (R A) および / または C D 2 0 1 9 である、請求項 1 に記載の R A R 2 および / またはそのアゴニストを含む医薬組成物。

【請求項 3】神経学的障害の治療のための、R A R 2 および / またはそのアゴニストを含む医薬組成物。

【請求項 4】前記アゴニストがレチノイン酸 (R A) および / または C D 2 0 1 9 である、請求項 3 に記載の R A R 2 および / またはそのアゴニストを含む医薬組成物。

【請求項 5】前記神経学的障害が神経学的損傷を含む、請求項 3 に記載の R A R 2 および / またはそのアゴニストを含む医薬組成物。

【請求項 6】神経学的障害の治療のための、R A R 2 発現系を含む医薬組成物。

【請求項 7】被験体内で神経突起を発生させるための、R A R 2 の少なくとも一部の発現を誘導することができる核酸構築物を含む医薬。

【請求項 8】R A R 2 アゴニストをさらに含む請求項 7 に記載の医薬。

【請求項 9】前記 R A R 2 アゴニストが R A および / または C D 2 0 1 9 である請求項 8 に記載の医薬。

【請求項 1 0】被験体内で神経突起を発生させるために細胞を処理する方法であって、被験体から取り出した細胞に R A R 2 の少なくとも一部の発現を誘導することができる核酸構築物を導入するステップを含む方法。

【請求項 1 1】細胞を R A R 2 アゴニストに曝露するステップをさらに含む請求項 1 0 に記載の方法。

【請求項 1 2】前記 R A R 2 アゴニストが R A および / または C D 2 0 1 9 である請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 1 3】薬学的に許容可能なキャリア、希釈剤、または賦形剤を有する混合物中に R A R 2 および / またはアゴニストを含む、神経突起発生に使用される医薬組成物。